

ファナック株式会社の事業適応計画のポイント

令和5年3月30日

当社は、地球温暖化の原因である温室効果ガスの発生・排出を削減することは企業の社会的責任であると認識し、2050年までにファナックグループの事業活動に伴うGHG排出量（Scope1, 2）をゼロ、2030年までに同排出量を42%削減する（2020年比）という中期目標を定めている。当該目標の達成に向け、工場等での省エネルギー推進、再生可能エネルギーの積極的活用、グリーン電力の購入などの取り組みを積極的に進めることで、CO2削減による環境への負荷低減と生産性向上や付加価値創出などによる企業の持続的成長を実現させていくこととしている。

本事業では、太陽光発電設備の導入によりCO2削減を削減し、炭素生産性の向上を図ることを目指す。

1. 事業適応計画の実施期間

2023年3月～2026年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を10.3%向上させます。

3. 前向きな取組の内容

・本社地区、壬生工場、筑波工場等に太陽光パネルを導入し、自家消費することによりCO₂排出量を削減し、炭素生産性を向上させていく。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

＜対象設備や設置場所などの画像＞

本社地区：太陽光発電設備



壬生工場：太陽光発電設備

